

補助事業番号 2023M-211
補助事業名 2023年度公設工業試験研究所等における機械設備拡充補助事業
補助事業者名 地方独立行政法人京都市産業技術研究所

1 補助事業の概要

現在の製造業が抱える、1) 機能性の高い材料・製品開発、2) 低環境負荷材料・プロセスの開発、3) 高信頼性製造技術、という課題に対し、

「波長分散型蛍光X線分析装置」を導入することで、高精度かつ高感度な元素分析が可能となり高度な技術支援が可能となります。

本機器は、機械金属部品、電子部品、建築、自動車、塗料、プラスチック、ゴム、陶磁器、繊維材料、文化財修復など、様々な産業分野において品質管理から研究開発まで広く適用可能な有益な分析装置です。

本機器の導入による波及効果は非常に高く、新材料・新製品の研究開発・製造プロセスの改善の観点から地域の産業振興に寄与することができます。最終的に、京都地域の基盤技術力、研究開発能力の高度化を図り、企業の国際競争力の強化に繋がることを目指します。

2 予想される事業実施効果

本機器を導入することにより、京都市内の「ものづくり基盤技術」を有する中堅・中小機械工業の事業者が、新材料・新製品の研究開発や製品の品質向上・製品加工プロセスなどの改善に向けた活用ができます。さらに、陶磁器、繊維材料、化粧品、樹脂、ゴム、文化財などの多種多様な分野においても品質管理から研究開発まで活用できることから、地域の産業振興に寄与することが期待できる。

3 本事業により導入した設備

① 波長分散型蛍光X線分析装置

(URL) <https://tc-kyoto.or.jp/info/post-15309/>

<https://tc-kyoto.or.jp/equipment/equipment-15303/>

波長分散型蛍光 X 線分析装置 (WD-XRF : Wavelength Dispersive X-Ray Fluorescence spectrometer) は試料表面に X 線を照射し、発生した蛍光 X 線スペクトルを分光結晶により分光し、得られた蛍光 X 線スペクトルの波長及びスペクトルの強度から元素選別を行いながら試料中の含有元素を定性分析および定量分析ができる分析装置です。



設置場所：【地方独立行政法人京都市産業技術研究所】

②本事業に係る印刷物等

産技研広報誌

2024年 6月発行予定（機器・施設紹介）

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 地方独立行政法人京都市産業技術研究所（チホウドクリツギョウセイホ
ウジンキョウトシサンギョウギジュツケンキュウシヨ）

住所： 〒600-8815
京都市下京区中堂寺栗田町91番地

代表者： 理事長 西本 清一（ニシモト セイイチ）

担当部署： 加工・製造技術グループ（カコウ・セイゾウギジュツグループ）

担当者名： 主席研究員 丸岡 智樹（マルオカ トモキ）

電話番号： 075-326-6100

F A X： 075-326-6200

E-mail： info_soudan@tc-kyoto.or.jp

U R L： <https://tc-kyoto.or.jp/>